

# 令和2年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	第1回北陸歴史まちづくりサミット	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

## 1. 事業目的

平成20年の歴史まちづくり法(地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律)施行以来、北陸では4市が同法に基づき歴史的風致維持向上計画の認定を受け、歴史まちづくりを推進している。

本事業は計画認定都市連携のもと、歴史まちづくりの成功事例やノウハウの共有、認定都市間の連携強化、北陸における歴史まちづくりの機運醸成などを目的に開催する。

## 2. 事業実施体制

主催: 第1回北陸歴史まちづくりサミット実行委員会  
(国土交通省北陸地方整備局、金沢市、高岡市、村上市、佐渡市)

後援: 石川県

協賛: 一般社団法人北陸地域づくり協会

## 3. 事業実施概要

日時: 令和2年11月5日(木) 14:00~17:15

場所: 金沢市文化ホール

雪氷技術研究発表

プログラム:

- 開催セレモニー
- 情報提供「全国における歴史まちづくりの動向」  
古澤 達也(国土交通省大臣官房審議官)
- 基調講演「歴史まちづくりのこれからと北陸の可能性」  
西村 幸夫(國學院大學教授、東京大学名誉教授)
- パネルディスカッション「歴史まちづくりの効果・展望」  
コーディネーター: 西村 幸夫  
パネリスト: 北陸地方整備局長、歴まち計画認定4市長
- サミット宣言
- その他: 歴史まちづくり計画認定都市パネル展

参加者: 137名

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

全国で83都市が歴史まちづくり法に基づく計画認定を受け歴史まちづくりに取り組んでいる一方、北陸地方では認定都市が4市に留まっている。そのような状況下において、本事業は北陸で初めての開催となった。

本サミットのテーマである、「「歴史まちづくり」がまちを元気にする～持続可能なまちに向けて～」について、歴史・景観まちづくりの第一人者による基調講演や認定都市首長のパネルディスカッションを通して、市民や認定を目指す行政関係者等に、歴史まちづくりの意義や成功事例、ノウハウを共有できたことは、今後の北陸における歴史まちづくりの推進、機運醸成に大きく寄与するものであった。



基調講演



パネルディスカッション



サミット宣言



認定都市パネル展